


タイトル	新たなデザイン導入による木材利用の促進と地域活性化	
概要	<p>用材利用を軸にしながら、商品開発と製造・ツーリズム・情報発信と販売促進の各分野を組み合わせ、多様な背景を持つスタッフの能力を生かして、山村の雇用を生み出している。なお、村では林業の六次産業化に挑戦しており人口1600人の村に60人のUIターン雇用が誕生している。</p>	
管理方法・技術的視点	<p>テーブル、デスクなどの家具類から雑貨類、食品、グリーンツーリズムまで地域の里山林環境とその周辺資源を生かした活動を実施し発信することで里山林資源を生かした地域の仕事づくりにつなげている。</p> <p>グリーンツーリズムとしては、これまで以下のツアーが実施されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.西粟倉村・源流の森ツアー 2.ヒノキの学習机づくり体験ツアー 3.ニシアワーな合コンツアー(炭焼きや和紙づくり体験など、田舎体験を行いながら、ジビエ料理や旬の食材で、様々な地域の人と交流) 4.イベント企画(夏休みやゴールデンウィークの日帰りイベント企画) 5.大黒柱ツアー(家の中心となる大黒柱の伐採と製材を山主と共に実施) 6.オーダーメイドツアー・研修視察 	
備考	<p>「西粟倉村100年の森林構想」ビジョンのもと「百年の森林事業」が2009年より開始。村の約95%を占める森を見直し、木々の価値を高めようと取り組んでいる。「森林事業は心と心をつなぎ価値を生み出していく『心産業』、村の資源である森林から産業、仕事を生み出していこう」というキャッチコピーにより、村内12地区すべての合意を得て事業がスタートした。</p>	<p>西粟倉・森の学校内にある間伐材を利用したモデルルーム</p> 
場所・主体	岡山県西粟倉村 (株)西粟倉・森の学校	
URL等	http://nishihour.jp/index.html	